

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願ひ申し上げます。

いつも大変お世話になっております。

今年も桜が盛大に咲きましたね。途中で雨が降ったり寒くなったりして心配でしたが、ソメイヨシノは結構長く楽しめて嬉しい春でした。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

先月までのお便りに引き続き、アメリカ旅行のお話です。

4日目、サボテン公園を見学した後、ツーソンからセドナに向かって4時間ほどのドライブです。セドナに行くのは今回で2度目。1度は行って見たかった場所に、2度も行けるなんて、本当に恵まれているな~と思います。

セドナは、街全体がパワースポットで、ボルテックスという地球のパワーが渦巻いている場所があるとされています。いくつもあるそうなのですが、その中でも四大ボルテックスといわれるのが、「エアポートメサ」「ベルロック」「カセドラルロック」「ポイントン・キャニオン」です。今回は、カセドラルロックの裏側の公園と、楽に登れる「ポイントン・キャニオン」と「フェイ・キャニオン」につれていってもらいました。

繊細な方はボルテックスの渦を感じたりするそうですが、わたしには全然わかりません。でも、エネルギーが強すぎるのか、夜ぜんぜん眠れないのです。(前回もそうでした)かといって、昼間も眠くないのです。身体にエネルギーがチャージされて、ここまでの旅の疲れも吹っ飛びました。

20年ほど前、友人が初めて来た頃とくらべると、セドナもすっかり観光地化されているそうです。ホテルや土産物屋が立ち並び、道路は渋滞し、観光バスや観光ジープが行きかう光景を、すこし寂しく思っているようでした。

そんなセドナの街から車で30分ほど離れた、モンテズマ・キャッスル国立公園に行きました。ここは、1000年程前アメリカ先住民族が切り立った崖の穴を利用して暮らした5階建ての住居跡です。

そして、モンテズマ・キャッスルからさらに移動して、モンテズマ・ウェルへ行きました。乾いた大地の中に滔々と湧き上がる泉は、古代より先住民の神聖な場所であり、部族同士の戦いや、白人との戦いが繰り返された場所でもあったそうです。

この泉を囲む崖にも、小さな窓のついた住居跡があります。

「わたし、あそこの部屋に住んでいた気がする」なんて言いながら、泉のまわりのトレイルコースを1周してみました。乾いた大地に力強く根付いた珍しい植物を摘んで食べたり、昆虫を捕まえて遊んだりしたような・・・気がしてきました。

ネイティブアメリカンというと、神秘的・スピリチュアルなイメージか、部族間の争いや戦士のイメージ、もしくは、侵略と虐殺の悲劇的なイメージを持っている人が多いのではないのでしょうか。

でも、もっともっとシンプルに、ただ大地と共に生かされていることを享受するような、「特別なことは何もない、そんな特別な日々」が、何千年もここにはあったのだろうと想像すると、心が震えました。

そうはいつでも、日本は安全で快適ですね。帰国すると一瞬で普段通りの日常がもどってきました。また、あの場所に戻れますように。

今年もあつという間に5月ですね。まだ肌寒い日もありますが、そろそろ暑くなってきそうな予感です。皆さまもお身体を大切に。気持ちのよい春をお過ごしくださいませ。



フェイ・キャニオン 人間がアリみたい



モンテズマ・キャッスル



モンテズマ・ウェル



あそこに住んでいたかも？

今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願ひいたします。